

平成26年11月27日

男女共同参画セミナー開催 ～ 多様な性別、多様な絆～24時間電話相談にみる、LGBTQ支援と制度設計の課題

広島大学男女共同参画推進室では、NPO法人共生社会をつくるセクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク代表理事の原ミナ汰氏をお迎えし、『多様な性別、多様な絆～24時間電話相談にみる、LGBTQ支援と制度設計の課題』というテーマで、下記のとおりセミナーを開催いたします。

学内、学外を問わず、どなたでもご聴講いただけますので、皆様お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。多くの皆様のご来場をお待ちいたしております。

記

【日時】平成26年12月3日（水） 10時30分～12時00分

【場所】広島大学東広島キャンパス 総合科学部 K205 講義室

【講師】原ミナ汰 氏（NPO法人共生社会をつくるセクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク代表理事）

【テーマ】『多様な性別、多様な絆～24時間電話相談にみる、LGBTQ支援と制度設計の課題』

【対象】学部生・院生・教職員・一般市民

【参加費】無料

【申込み】事前申込要（当日参加も可能です）

【申込み・お問合せ先】

広島大学男女共同参画推進室（担当：島原・岡本）

TEL：082-424-4428・4355

FAX：082-424-4355

E-mail：gender-eq@hiroshima-u.ac.jp

多様な性別、多様な絆～24時間電話相談にみる、 LGBTQ支援と制度設計の課題

【趣旨】

セクシュアル・マイノリティ(LGBTQ)とは、同性愛、性同一性障害、性分化疾患など、性指向・性自認・身体の性別のあり方が非典型とされる人々のことです。家庭・学校・職場・地域で、セクシュアル・マイノリティは依然として多くの誤解や偏見にさらされています。その固有の生きづらさを受け止める電話相談に寄せられた声から、この問題を考えます。

日時：平成26年12月3日(水)

10:30～12:00

会場：広島大学 総合科学部 K205講義室

**本講演会は専門科目『学問とジェンダー』
の講義の一環ですが、
この日のみどなたでも受講できます。
ご参加お待ちしております。**

- ・対象：学部生・院生・教職員・一般市民
- ・参加費：不要
- ・事前申込要(当日参加も可能です。)

【お申込み・お問合せ先】

広島大学男女共同参画推進室 広島県東広島市鏡山1丁目1-2
URL: <http://www.hiroshima-u.ac.jp/sankaku>
担当：島原・岡本
TEL: 082-424-4428・4355 FAX: 082-424-4355
E-mail: gender-eq@hiroshima-u.ac.jp

【講師プロフィール】

原 ミナ汰

NPO法人共生社会をつくるセクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク代表理事、
よりそいホットライン専門ラインコーディネーター、翻訳家。
性別はXジェンダー

1956年生。幼少から男女の境界域に棲息。少年サンデーの「チビ太」にあやかり「ミナ汰」と呼ばれた。

小学生の頃、一時米国に移住。日本の学校に適応できず不登校、ひきこもり、外こもりを経験。「原 美奈子」の名で日・英・西の翻訳通訳の傍ら、レスビアンピアのピアサポートや、性被害サバイバーの自助グループを運営。10年前からLGBTQを社会資源につなぐ活動を開始して現在に至る。

主な共訳書：

レスビアンの歴史(筑摩書房 1996)、生きる勇気と癒す力(三一書房 1997、2010、2013)、
Transfarming Japan:How Feminism and Diversity are Making a Difference (The Feminist Press 2011) 他

